

学習課題（小学校1年生）

【算数】※は べんきょうするときの せんせいからの アドバイスです。

<学習内容>

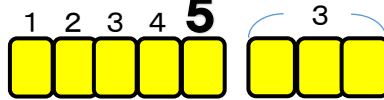
◆「どんなしきになるかな」（きょうかしよ 162～165 ページ）

1 かなさんは まえから 5ばん目にいます。かなさんのうしろには 3人います。 ぜんぶで なん人いるでしょうか。

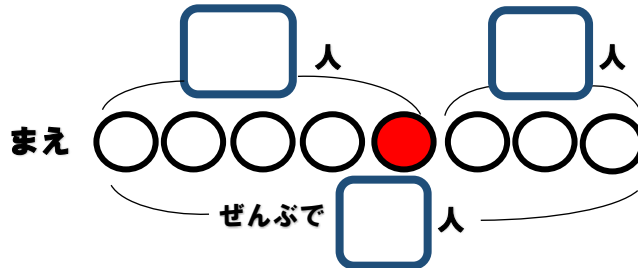
おはなしを ^{まる}○のずに あらわして かんがえましょう。



※ブロックで かんがえると 下のようになるね。



①□の中に入る すう字を かんがえて かきましょう。



※  が かなさんだね。

②しきとこたえを かんがえて かきましょう。

しき

こたえ

人

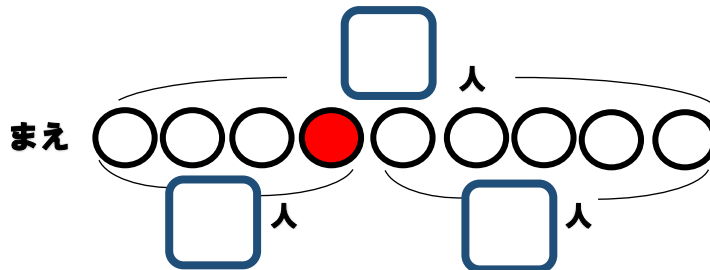
2

9人 ならんでいます。 さとしさんは まえから 4ばん目です。 さとしさんの うしろには なん人 いるでしょうか。

あれ。「ぜんぶで」「あわせて」「のこりは」みたいなことばがないね。たしざんと ひきざん どちらだろう。

おはなしを ^{まる}○のずに あらわして かんがえましょう。

①□の中に入る すう字を かんがえて かきましょう。



※ ● が
さとしさんだね。

②しきとこたえを かんがえて かきましょう。

しき

こたえ

 人

たしざんや ひきざんを あらわすことばが なくても
ずをかくと しきが はっきりするね。

3

なおさんは、ゆき玉^{だま}を6こつくりました。いもうとは、なおさんより
4こおおくつくれたそうです。いもうとは、なんこ つくれたでしょう。

[○のず を かきましょう。]

な お ○
いもうと ○

165 ページのもんだい 4 のおはなしを ○のずにあらわしましょう。

<保護者による関わり方のポイント> ※可能な範囲でお願いします。

◆どんなしきになるかな（教科書 P162～165）

この単元では、今まで学んだたし算とひき算を使って、少し複雑な問題場面に取り組みます。最初の問題では、「5番目」という順序数と、「後ろに3人」という集合数が出てきています。立式の際には、「前から5番目」という言葉が、どんな場面を表しているのかを捉える必要があります。言葉のみに着目して立式するのではなく、ブロックを使ったり図を描いたりする活動を通して、問題場面を捉える経験をたくさん積むことが、子どもの考える力を伸ばすことにつながります。